

化学委員会・物理学委員会合同結晶学分科会（第26期・第2回）  
化学委員会 IUCr 分科会（第26期・第2回）合同分科会議事要旨

日時：令和6年6月12日（金） 13時00分～14時30分

会場：オンライン（Zoom）

出席者：秋山 修志<sup>†</sup>、井上 豪<sup>†\*</sup>、大友 季哉<sup>†</sup>、奥部 真樹<sup>†\*</sup>、奥野 恭史<sup>†</sup>、片岡 幹雄<sup>†\*</sup>、上村 みどり<sup>†\*</sup>、  
栗原 和枝<sup>†\*</sup>、腰原 伸也<sup>†</sup>、小島 優子<sup>†</sup>、佐々木 園<sup>†\*</sup>、菅原 洋子<sup>†\*</sup>、富永 依里子<sup>†</sup>、中川 敦史<sup>†\*</sup>、  
難波 啓一<sup>†\*</sup>、西野 吉則<sup>†\*</sup>、西原 寛<sup>†</sup>、西堀 麻衣子<sup>†\*</sup>、野田 岳志<sup>†</sup>、福島 孝典<sup>†</sup>、森吉 千佳子<sup>†\*</sup>、  
山下 敦子<sup>†</sup>

欠席者：黒田 玲子<sup>†\*</sup>、富安 亮子<sup>†\*</sup>、南後 恵理子<sup>†\*</sup>

（<sup>†</sup>結晶学分科会委員、<sup>\*</sup>IUCr 分科会委員）

<配布資料> なし

## 議事

- ・議事に先立って、結晶学分科会、IUCr分科会の委員長より、今期の活動に向けて挨拶があった。

### 1. IUCr分科会議題

#### (1) IUCr ECからの報告

- ・中川委員長から、IUCrのステートメントとロゴが新しくなったことが報告された。

<https://www.iucr.org/news/notices/announcements/exciting-news!-the-iucr-has-a-fresh-new-logo>

- ・これは、近年の科学の進歩に伴って「結晶学」およびその周辺分野が大きく変化してきていることに対応し、「構造科学」の発展を目指したものとなっている。
- ・従来のロゴは結晶からの回折がイメージされたものであったが、狭義の結晶学にとらわれず、広い意味での構造科学が意識されたものに刷新されていることの説明があった。

#### (2) 委員の承認について

- ・5月31日の幹事会で西堀麻衣子連携会員（現結晶学分科会委員）がIUCr分科会委員となることが承認されたことの報告があった。これにより第1回合同分科会（令和6年3月22日開催）において仮承認されていたIUCr分科会の幹事への就任が決定した。

### 2. 結晶学分科会・IUCr分科会共通議題

#### (1) シンポジウムの企画について

- ・第1回合同分科会で承認された日本結晶学会令和6年度年会（名古屋）との連携について、高校生の参加がポスター発表に限られ、シンポジウムの形式が取りにくく、現地実行委員長 Leo Chavas 教授とも相談の上、共催ではなく後援を行う案が提案され、承認された。
- ・令和7年度にシンポジウムを開催するためにWGを作り、12月の合同分科会に議論することが承認された。ただし、令和7年度の日本結晶学会年会が台北で開催されるため、学会とは独立した日に開催する

ことが承認された。

- ・開催形式についてもオンラインやオンサイトのメリット／デメリットが議論され、高校生の参加を呼びかけるとなるとオンラインは必須であり、ハイブリッド形式または完全オンライン形式が良いとの意見が多数を占めたが、詳細については12月の合同分科会にて決定することが承認された。

以上